

子どもたちに聞いてみました 新型コロナどう思う？

コロナ禍で困ったこと、大変だったこと、悲しかったことはありますか？

友達とあまり遊べなくてショックだったの (小2女子)

三九郎がなくなったこと (小4女子)

旅行に行けなかったの (小4女子)

いーづら祭とかウルトラゲーム大会とかの楽しみにしていた行事がなくなっちゃって悲しかったの (中1女子)

県内の修学旅行じゃなくてディズニーに行きたかったの (小6女子)

マスクが苦しい (小4女子)

部活が始まるのが遅くてあまり3年生の先輩と仲良くできなかったこと (中1女子)

里山学習に行けなかったの (小6女子)

学校の行事とかもなくなって結構ヒマだったの (中1女子)

新型コロナの流行が収まったらやってみたいことはありますか？

いろいろな学年の人と交流したい (中1女子)

もっと地域のいろいろな人と交流したい (中1女子)

大阪に行きたい! (小6女子)

ディズニー行きたい!! (小6女子)

富士急に皆で行きたい! お泊りたい! (小6女子)

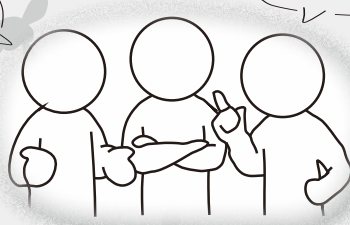
公民館のバス遠足かなあ (小4女子)

バス遠足に行きたい (小4女子)

友達と一緒に遊んだり、マスクを外して勉強したい (小3女子)

タコのカルパッチョ作りたい!! (小6女子)

旅行に行く (小4女子)



ふれあいのまち



松原かわら版

世帯数 1,224 戸
人口 2,972 人
高齢化率(65歳以上) 28.3%
(令和 3 年 2 月 1 日現在)

大人たちも未曾有のコロナ禍で混乱していますが、それ以上に子どもたちは不安を感じ不自由を強いられています。未来を担う子どもたちがのびのびと暮らせるよう、一刻も早い事態の収束を願います。

からくり時計

「新型コロナウィルス」という言葉を聞くようになって一年が過ぎた。夫は、テレワークで週の半分が在宅勤務となり、家にいる時間が増えた。一年前、大学四年生だった息子は、卒業式がオンラインとなり、オンラインでの入社式と新人社員研修を終えた後に上京した。大学生の娘は、オンライン授業、オンライン実習という中で一人暮らしをしながら大学生活を送っている。それぞれ生活様式が一変した年であったと思う。自粛

という中、子どもたちは帰省も思うようにできず、祖父母の所へ行くことは、さらに難しい。しかし、会えない祖父母とのメールでのやり取りが増えたことは良かったといえる。大学生に返信の速さを驚かせる義父は、今年喜寿を迎え、まもなくスマホデビューを予定している。義父が安心してスマホで写真を撮りに外出できる日は、いつ頃になるだろうか。この先、一日も早く今の状況が解消され、家族が会いたい時にいつでも会える、皆が安心して暮らせる、そんな日が戻ることを願っている。自分ができる感染対策を続けていきたい。

(編集委員)

まつばらのできごと

2/6・13・20 休日フィットネス

タヒチアンダンスとエアロビでいい汗をかきました!

2/11 レッツ手づくりバレンタインスイーツづくり
今年はフォンダンショコラとチョコクランチを作りました

焼き上がりはうかな?

ウィズ コロナ With Corona ～コロナ禍における私たちの取り組み～

私たちの営みに甚大な影響を与えた新型コロナウイルスの感染拡大は、今後を見通せない状況がしばらく続きそうです。そのような状況下で、様々な工夫や挑戦をされている松原の代表者たちのお話を公民館の合津(旧姓横林)がお伺いします。

質問 本年度コロナ禍で実施されたことや工夫されたことをお聞かせください

▼町会連合会 坂口さん

新年度を迎える中、町会長が全員新顔となったものの、コロナウイルス感染拡大防止で新旧役員、町会長の懇親会もできなくて、コミュニケーションの場がなくなってしまいました。そうした中、日頃の町会運営や活動について語れるように新しく町会長懇談会を提案しました。自由に恥ずかしいことでも何でも、お互いを知って学び合える場となったと思っています。

▼体育協会 中島さん

専門部の活動としては、部会は当初予定の10回が、4回の開催となりました。会議は密を避けるよう、参加人数の調整や机の配置を工夫しました。当初計画していたイベントは開催できませんでしたが、11月に関係役員とスポーツクラブとの交流イベントを何とか開催しました。感染対策として、参加人数の事前把握で規模調整を行いました。参加者からは好評の声を多くいただくことができ、次年度に向けての足掛かりになったのではと思います。

▼文化広報委員会 渡辺さん



文化広報部の活動のうち、いいづら祭や文化祭等の大型イベントが失われたことは寂しい限りですが、唯一「松原かわら版」の編集・発行は、例年通り順調に活動できました。コロナ禍の収束しない暗い時世のなかで、折から幸いにも「からくり時計」の再生へ向け、大勢のボランティアが参加した修復プロジェクトの完了という記念碑的な行事を軸に、可能な限り元気と希望の持てるトピックを紙面に反映させました。また、コラム欄の名称を「からくり時計」とし、新たに6つのロゴマークを町内のデザイナーの協力で作成しました。年6回発行の各号毎にロゴマークを更新してお届けします。

質問 約一年間に及ぶコロナ禍での仕事や日常生活での影響や感想をお聞かせください

▼松原モールぷろじえくと 新保さん



モールのシンボルである時計台を、いろいろな方にご協力をいただき復活でき、お披露目のセレモニーも開催できました。さらに3年目になる年末のイルミネーションもボランティアの方々の努力で無事点灯できました。コロナ対策のため、残念ながら、地域の協力者や町会の方たちと会食を伴う懇親の場を設けることができませんでした。本年は、そのような中でも、少しでも絆の深まる催しができればと考えています。

質問 来年度も With コロナの日々が続きそうですが、どのように乗り切っていきましょうか

▼体育協会 中島さん

役員の中には、ご高齢の方や医療従事者もいらっしゃるため、イベント等の運営は難しい状況です。場所の確保や開催規模の調整を含め新たな様式での開催が必須条件になっています。また今だからこそ、専門部の活動内容の見直しや人員再編など連合町会全体での大胆な議論を行えるのではないかと思います。高齢化が進む松原において、歴代の役員さんが築いてこられた「住み心地の良い松原」を継承し、アップデートしていけたらと思います。

▼文化広報委員会 渡辺さん

ここしばらくは、国内外の出張・旅行が大きく制限される状況が続くと思われるが、考えてみれば、如何に移動の無駄・ロスが大きかったことか。この経験から却って、オンラインの出会いの機能性が良く見えて来ました。このところ、従前とは比較にならないほど、遠隔・疎遠だった旧知の知人とのコンタクトが密接になりました。非対面の新生活を楽しみつつ、来るべきバージョンアップした「対面の日常」に備えたいと思います。